

水域環境の修復特別対策

現状と課題

東日本大震災によって、水産基盤整備事業等により整備された漁場施設の被災や藻場・干潟等の喪失、がれきの流入・堆積などが発生しており、水域環境の修復と漁場の生産力の回復が課題。

● 漁場施設の被災状況調査

- ・ 整備した人工礁漁場など漁場施設の被災状況把握のための調査
- ・ 災害廃棄物の漁場整備への活用方策検討のための実証試験
- ・ 実施主体：国

● 漁場生産力回復のための漁場整備

- ・ 魚礁、増殖場、藻場・干潟の整備、覆砂等の広域的な整備
- ・ 補助率：1/2
- ・ 実施主体：地方公共団体



漁場へのがれきの流入・堆積



藻場の消失・がれきの堆積

漁場施設の被災状況把握調査

災害廃棄物の有効利用実証試験

災害廃棄物集積場



コンクリートがら等再生可能な資源の調達・再利用等

コンクリートがら等を使用した魚礁・着定基質（藻場礁等）の設計、開発、指針の策定

漁場機能回復のための底質改善

漁場施設の整備・修復

